



た や しゅう すけ
田 矢 修 介

けん と
県都クラブ

新たな津市応急診療所はどのようになるのか

問 新たに開設される津市応急診療所について、感染症流行期など、診療を行う上での機能性は十分担保されているか。また、症状に応じた検査の実施は可能となっているのか。さらに、日曜・祝日の昼間における診療と時間帯は。

そして、待ち望まれている新たな応急診療所の開設日は。

答 新たな応急診療所は、感染症の流行期に対応できるよう、診察室を2室確保するとともに、特別診察室を設置し、入口や待合室、トイレを一般患者用とは別にして一層の感染予防に努めるほか、処置室を設け、繁忙期にも診察の流れを円滑に保ち、プライバシーを保護しつつ処置や検査ができるようにするなど、機能性を考慮した施設レイアウトとなっている。また、これまでの検査に加え、不整脈などの心臓疾患の診断を行う心電計を新たに整備し、検査のより一層の充実を図る。さらに、毎夜間に加え、日曜・祝日と年末年始は、午前10時から正午までと午後1時から午後4時までの時間帯で診療を実施する。

開設日は、平成29年4月1日として準備を進めている。

●その他の質疑・質問●

○賃貸マンションなどを自治体が借り上げて被災者が無償で住めるようにする「みなし仮設住宅」の活用を

○前立腺がんの増加スピードに対する津市の対応は十分か

○次期津市総合計画の策定において津市行政の「総合性」とは何か。また、より深く財政的な裏付けや信頼性が求められていると考えるが

など



▲応急診療所を併設した新たな教育委員会庁舎の完成予想図



ふく た けい いち
福 田 慶 一

しみん
市民クラブ

津北部地域における海岸堤防の早期整備を

問 近年、南海トラフ巨大地震等による大規模な津波の発生が危惧される中、地域住民から海岸堤防の早期整備が熱望されている。一部の区域では、堤防高不足や老朽化が進んでおり、堤防の機能が損なわれつつある状況である。

そこで、県管理の堤防整備の進捗状況と、河芸漁港と白塚漁港区域内の堤防整備の進捗状況は。

答 県管理の海岸堤防について、県は、老朽化対策として、平成24年度から2年間で7カ所を補修しました。また、堤防の整備については、平成27年度まで地質調査を行い、それを受け、本年度、基本設計が行われている。

河芸漁港と白塚漁港区域内については、平成27年度に津市が地質調査を行い、これに基づき、今年度基本計画を策定している。白塚漁港は、県が新たな流通拠点港として位置付ける方向で検討していることから、さらに整備の要望を強めていく。

こうした状況をしっかり踏まえ、国・県・市それぞれの管理区域で調整を図りながら整備に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○消防・防災関係について

●救急隊数と選任化について

●救急救命士の養成について

●火災警報器の設置について

●自主防災組織について

○新しい時代の教育について

●公民館と学校の連携協働は

●学校支援組織について

●社会科事業の充実について

○マイナンバーカードについて

○市職員の諸課題について



▲早期整備が熱望されている津北部地域の海岸堤防